

## 第40回インナーゼミナール大会

### 研究計画書

<b>ゼミ名</b>	上島ゼミⅡ
<b>チーム名</b>	Team UESHIMA
<b>タイトル</b>	若者の雇用
<b>テーマ群</b>	g) その他
<b>メンバー</b>	◎ 船山雄生 原田誠志 五島淑貴 齊明寺裕也 永瀬貴也 久田元樹 八部崇史
<b>研究計画内容</b>	<p>今日、日本では若者の雇用におけるさまざまな問題が存在しています。この研究では七・五・三問題、長時間労働、学歴格差、正規社員・非正規社員の差、キャリア支援について取り扱います。</p> <p>まず、七・五・三問題とは中・高・大卒者が就職して、3年以内に辞職する割合を表したものです。なぜ、三年以内に辞職してしまう人が多いのかを調査していきます。</p> <p>次に長時間労働ですが、これは若者に限ったものではありません。どれくらいの割合の人がどれほどの長時間労働をしているのかを明らかにしていきます。</p> <p>学歴格差では実際にどのような学生に内定が出やすいかなどアンケート調査を行うことによって調査していきます。主なアンケート項目はアルバイトは行っていたか、クラブ・サークルには入っていたか、内定をもらったとき何単位ほど残っていたか、資格などは持っているか、などです。</p> <p>正規・非正規の問題では、賃金体系・雇用体系にどのような差異があるかを調査していきます。具体的には賃金の差はどのくらいあるか、手当てなどに違いはあるか、などです。</p> <p>キャリア支援については実際に大学では、学生に対するどのような支援が行われているのかを調査します。甲南大学のキャリアセンターでは様々な支援が行われていますが、主にどのようなものが行われているかを調べます。</p> <p>これらの様々な調査を通して、若者の雇用における現状、どのような「こと」が有効な手段なのかを発表していきます。若者の雇用の問題は、これから私たちが直面する問題なので、発表を通して私たちも成長していきたいと思えます。</p>

